

和太鼓の文化 後世に伝える

高校3年生 中川 理子 石川県能美市

私は、今の日本で受け継がれている素晴らしい伝統文化を後世に伝えていくことができる人になりたいです。

私は小学校3年生のころから、地元の和太鼓チームに所属しています。和太鼓は、誰でもたたけば音が出ます。だからこそ、その一音一音を大切に、何人かで息を合わせた時はとても心に響く音になります。これが、和太鼓のすてきな魅力だと思います。

和太鼓は、こんなに素晴らしい伝統文化であるにもかかわらず、現在は少子化に伴い、私が

所属するチームも人数が減っています。このままでは、和太鼓という文化が途絶えてしまいます。

後世にこの文化を伝えていくために、私は地元のお祭りなどで披露する際には、伝統ある和太鼓の良さを体いっぱい表現していきたいと思います。

私自身もずっと和太鼓を続けていき、後世に和太鼓の文化を伝えていける人でありたいです。

